

5 平成26年度交通事業の概要

本市交通事業は、市民生活に不可欠な公共交通機関として重要な役割を果たしてきておりますが、交通手段の多様化や少子高齢化の進行、民間バス事業者との競争激化など、交通事業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

平成26年度につきましては、4月1日からの消費税率の引き上げに合わせ、負担増分を適正に料金に転嫁するため、乗車料等の改定を実施いたしました。また、経営状況については、路線バス利用者の減少傾向は変わらず、電車利用者も前年度と比較して微減となり、さらに観光・貸切バス利用者が大幅に減少するなど、厳しさを増しております。

このような状況の中、平成26年度の事業運営に当たりましては、交通事業の基本である安全輸送の確保と乗客サービスの向上を図るとともに、経営健全化計画に基づき、増収対策や事業の効率化による経費削減などに積極的に取り組んでまいりました。

その主要施策等は、次のとおりです。

軌道事業につきましては、観光レトロ電車「かごでん」及びイベント電車をはじめとする貸切電車の利用促進を図るため、鹿児島中央駅周辺のホテル等へのチラシ配布及び運行体系の見直しの検討を行いました。

また、電車の空調装置（2両）を更新するとともに、電車停留場上屋（3箇所）を整備するなど、乗客の待合時の快適性及び乗降時の容易性の向上を図りました。

自動車運送事業につきましては、北営業所及び桜島営業所管内の路線に係る管理の受委託を引き続き行うとともに、実施状況について客観的な検証・評価を行う評価委員会を設置し、26年度の評価報告書を取りまとめました。

また、緑ヶ丘団地、伊敷団地から鹿児島中央駅への早朝の利便性向上を目的に、40番武岡台高校線の運行系統の見直しを行うなど乗客サービスの向上や運行の効率化を図りました。

このほか、低公害低床型バス（大型10両）及び衝突被害軽減ブレーキを搭載した貸切観光バス（大型1両）を購入したほか、バス停留所上屋（2か所）を整備いたしました。

軌道事業及び自動車運送事業共通の取組につきましては、引き続き接客マナーの向上を図るため、職員を対象に外部講師による接遇研修を実施いたしました。

また、平成27年度の移転に向け、高麗町施設の見学会や、移転記念誌の作成などの記念事業を実施するとともに、「～ありがとう高麗町～2014市電・市バスゆーゆーフェスタ」を開催いたしました。

さらに、市電・市バスをデザインした新たなオリジナルグッズの製作・販売や鹿児島中央駅周辺のコンビニエンスストアなどへの販路拡大を行ったほか、広告媒体を一覧で紹介するパンフレットの作成や局指定広告取次人に対する割引率拡大キャンペーンなどによる広告料収入の増収に努めるとともに、交通局移転記念タイアップ広告や、ゆーゆーフェスタ時の車体広告デザインコンテストなど広告媒体を活用した交通局事業のPRに努めました。

交通局施設のリニューアルにつきましては、局舎・電車施設関係については、電車整備工場などが完成しましたほか、基地内の軌道工事等を行うとともに、新武之橋変電所の実施設計を行いました。

また、移転に向け、平日、夕方の鹿児島駅前発・中央駅方面経由・谷山への直通便の新設など輸送需要に見合った効率的なダイヤ編成に取り組みました。

バス施設関係については、新栄及び浜町用地において、バス整備工場及び営業所などの建設に着手いたしました。

また、交通局移転後の跡地について、跡地処分検討委員会で売却に向けた具体的な検討を行うとともに、建物等の解体設計や土壌汚染調査、敷地境界確定測量調査等を実施いたしました。